ひと

創立70周年を迎えた鎌倉三日会会長

渋谷 哲男（しぶや てつお）さん

鎌倉市政のために調査・研究、提言を続けてきた鎌倉三日会が、昨年9月で創立70周年を迎えた。その記念として7月24日、会員から募った寄付で、湘南鎌倉総合病院に車いす17台と採行補助器4台を贈った。

鎌倉三日会は、1951年、GHQ民間情報教育局からの要請で、地方自治の発展や住民生活の改善のための市民団体として設立された。集まったのは地元の有識者や、文化人、財界人らだった。

以来、市の財政問題、市議会議員の定数削減、通信や交通の改善、企業誘致、市内の美化や風致保存運動など、さまざまな問題に取り組み、申し入れや提言を行ってきた。

渋谷さんは4年前に12代目の会長に選ばれ、今年5月から33期目の任期に入った。最盛期には300人ほどいた会員は、いま80人弱。「若い人を入れて、引き継いでいきたいのですが」と言う。

分科会で研究した成果を、15人の理事会で提言として承認する。現在取り組んでいるのは、津波やがけ崩れなどの防災や、若い人に魅力のある街づくり。街づくりでは特に幼児教育の充実に力を入れ、英語教育の実態なども調査した。

松尾崇市長は4期目に入ったが、「先送りされている課題も多い」と指摘する。ゴミ焼却場や、市庁舎の移転問題などだが、議論が二分される問題については提言しにくいとも話す。

車いすなどを贈ったのは、コロナ禍で活動する医療従事者に感謝するため。10年ほど前に、湘南鎌倉総合病院が救命救急センターの指定をどうにか協力し、国や県に働きかけた。いまや同病院への救急搬送は年間1万8千人（2021年）に届き、当初は必ずしもよくなかった地元医師会との連携も円滑になった。

戦時中は愛知県に疎開していて、3歳のころに材木座に戻った。その後、由比ガ浜に移る。横浜国大付属の中から慶應志木高、慶応大を卒業した。三菱商事に入り、メキシコや米国に駐在した。東京・豊洲にある子どものための職業体験施設、キッザニア東京にも設立からかかわっている。

今後は、長年の課題である交通問題で、歩行者に優しい街づくりをめざたい。歩道での歩行者と自転車の分離や、狭い道での一方通行の試行などで、「米国の町との提携の話も会員から出ています」と、アイデアはつきない。80歳。

（文・写真 真田正明）

みる

▼鎌倉殿の13人 大河ドラマ館リニューアル 等身大パネルや人物紹介サイネージの人替え、大倉御所のジオラマなど最近の放映内容に更新、千円。鎌倉市大河ドラマ担当☎23・3000

▼北条氏展vol.3 北条義時とその時代 ▽鎌倉国宝館 8月21日まで「義時と頼朝・頼家」、9月3日～10月23日「義時と実朝・頼経」。7百円。☎22・0753

▽鎌倉歴史文化交流館 10月8日まで「武家政権確立への道」。4百円。☎73・8501

▼現代美術 草間彌生・李禹煥他 ギャラリー伸☎24081

▼ウクライナ・ポーランド・ロシア・日本「子どもたちの心の声」展 8月5～9日山ノ内のギャラリーえにし。子どもたちの絵画約80点と写真10数点。heart実行委員会主催☎91・4327

▼川喜多映画記念館 企画展「映画と音楽の素敵な出会いPart2」 9月11日まで。映画音楽の名作・名曲を映画関連資料と紹介。2百円。

▽関連上映 8月9・11・13日10時半、19・12・14日14時「真夏の夜のジャズ」、14日10時半、9・13日14時「ジャズ・ロフト」各千円、小中学生5百円。

▽特別上映『ジャズ・ロフト』+トークイベント 1600円、小中学生8百円。☎23・2500

▼夏から秋へ 季節のよそおい 9月11日まで「鏑木清方記念美術館」。作品と清方が考案した浴衣地など。3百円。☎23・6405

▼長野ヒデ子の世界 9月19日まで「鎌倉文学館」。『おかあさんがおかあさんになった日』など作品を紹介。5百円。☎23・3911

▼伝えたい情景―木版画家・山岸主計と現代作家たち 8月28日まで「藤沢市アートスペース」。藤沢ゆかりの木版画家・山岸主計の作品など。無料。☎0466・30・1816

▼運慶 鎌倉幕府と三浦一族 9月4日まで「横須賀美術館」。運慶と運慶工房作と見られる仏像を中心に仏像や書跡など約50点。千円。☎046・845・1211

きく

▼第72回「社会を明るくする運動」鎌倉市地区大会 講演と音楽のつどい 8月19日13時半、鎌倉生涯学習センター。▽「依存症について」川崎クルク会支援会・岡﨑重人理事長の講演▽琉球太鼓演技。無料。先着順。市生活福祉課☎61・3958

▼田中智子門下朗読会「ふうりん」夏休み公演 8月22日14時、逗子文化プラザ。平和の尊さを朗読で。菊池寛作「新今昔物語より弁財天の使」など。5百円。木村芳☎0090・9932・9777

▼大森洋子ピアノリサイタル ウィーンの風に吹かれてⅡ 8月23日14時、鎌倉芸術館。ハイドン・ピアノソナタ第62番、ベートーヴェン「月光」、ショパン「英雄ポロネーズ」など。ウィーンのお話と共に。2500円。中田方☎0080・2254・9289

▼第39回鎌倉ジュニアオーケストラ定期演奏会 8月23日14時、鎌倉芸術館。小学生から高校生のオーケストラ。メンデルスゾーン「真夏の夜の夢」など。無料。☎080・5512・6137

まなぶ

▼臨床宗教師の死生観 8月23日10時、深沢学習センター。65歳以上対象。講師は禅居院・山名田紹山住職。無料。要申込。鎌倉市市民健康課☎61・3977

▼海を救えプラごみと気候変動から 8月27日14時、よこすかウィング。講師は環境活動家・武本匡弘さん。5百円。よこすかオレンジの会主催。☎090・3431・1450

さんか

▼鎌倉ガイド協会 古都A荘厳な地底伽藍・田谷の洞窟を訪ねる 8月2・10日9時半、大船駅南改札集合。田谷の洞窟など。約3.5㎞。

B夏の鎌倉道遥―大町・材木座で頼朝を想う 8月19・23日9時半、鎌倉駅西口時計台広場集合。来迎寺など。約3㎞。

C歴史のまち・浦賀を歩く 8月15日9時、京急浦賀駅改札集合。東・西叶神社参りと渡船。約3㎞。各7百円。交通費、拝観料等別。HPから申込。☎24・6548

▼しごとん2022 8月6～14日1～16時、MUJIcomホテルメトロポリタン鎌倉。無料。衣料、鎌倉彫、IT、放送局など湘南の9企業が仕事を紹介。鎌倉エフエム放送主催。

▼ずし平ディー2022 8月11・18～22日逗子文化プラザ。平和をテーマにしたコンサート、ワークショップ、講演会、映画など。市民協働課☎0046・872・8156

▼鎌倉ユネスコ協会 ▽バザー8月14日10～14時、同会深沢倉庫（深沢中学へ上る手前の信号右折の長屋）。毎月第2日曜、雨天開催。※献品受付衣類・着物・雑貨・支援用食糧品。☎44・9830

▽書きそんじハガキでアジア寺子屋支援 未使用切手・プリペイドカードなども。鎌倉市御成町11―45・7420

▼逗子の市（雨天中止）　亀岡八幡宮境内。▽フリーマーケット8月26日9～15時。雑貨・衣類・主造り品など約20店。▽骨董市27日8～15時。※フリマ・骨董出店者募集。ちっこ岡方☎090・5442・3778

▼生涯学習教養セミナー 8月22日木彫り、23日大人の塗り絵、24日フラダンス、25日着付け、26日忍者になろう。各10時、5個進呈。支援金は難民を助ける会へ。SDGs活動支援センター info@sdgs.or.jp

▼ウクライナ難民を支援するPeaceバッジ 一口千円。QRコードから申込をして振込。湘南信用金庫 鎌倉営業部普通4159121エスデージーズカッドウシエンセンター。1口バッジけて、みずたまのれんフラッグのある約60店の商店でコラボ商品の販売やアート・フォト展、スタンプラリーなど。事務局☎0466・24・1234

▼北鎌倉・台峯の緑を歩くともに ▽山の手入れ 8月20日10時、山ノ内配水池脇。▽山歩き 8月19・21日鎌倉芸術館。鎌倉市内の小中学生、保護者が対象。観て、聴いて、体験する3つのアプローチで。鎌倉文化に触れてもらう。鎌倉の風景や仏教美術、能などの写真展やコンサート、武将・姫装束を着て当時の立ち居振る舞いを学ぶ特別体験も。鎌倉市芸術文化振興財団グループ主催。

▼体験ワークショップ ▼鎌倉建築体験 神社仏閣などの建築図面のぬりえ。20日10時半・13時半、同館☎48・5500

▼ロミオとジュリエット スペシャルバージョン 8月26日14時、鎌倉芸術館大ホール。2022年鎌倉バレエ芸術フェスティバル「ロミオとジュリエット」スペシャルバージョン。演出・振付＝清水哲太郎、昨年舞踊歴70年を迎えた森下洋子を中心にプリマバレリーナらの主演で。S1万円・A7千円・B3千円、3歳～小6、S6千円・A4千円。同館☎0120・1192・40松山バレエ団☎03・3408・7939

▼夏休みキッズプログラム・スペシャル 観て・聴いて・体験して 鎌倉文化の魅力大発見 21日13時半。▽写仏体験 20日10時半・13時半。▽鎌倉彫体験 コースター作り。21日10時半・13時半。▽お囃子体験 小鼓の演奏と唄い。21日11時・14時半。▽茶道体験 20・21日。各10時・13時。各5百円。申込は往復ハガキ（一人1通）。①ワークショップ名②参加者名③ふりがな④学年⑤年齢を記入し〒247―0056大船6―1―2鎌倉芸術館へ。10日必着。同館☎48・5500

季節の心 ㊾

なぜ金魚を愛でる

佐伯 仁

●小さな金魚にそそぐ愛

8月。葉月。竹の春。酷暑の続く季節の〝涼〟は、ガラス鉢で泳ぐ金魚。

中国・揚子江下流域で鮒を改良し、誕生した赤い金魚が室町期に渡来。当時は上流階級が愛玩し、江戸中期には「金魚（だいきん）養玩草」が出版普及、武士の副業として奨励され品種改良も進んだ。

産地は今も奈良郡山、愛知の弥富、浮世絵美人も金魚と美を競った。

一方、豪商は夏座敷と称し、天井にガラスを張り、水を貯め金魚を籠賞。現代でも九谷焼の陶器を水槽にし、光と音楽で金魚を泳がせ、光と音楽で演出する国際映像イベントも人気を博した。

なぜ金色にこだわる？10世紀の中国では金運をもたらす縁起のいい魚として金魚と名付けた。

その名残は8月、山口柳井の金魚提灯祭、廻船で栄えた商家を照らす金魚は商売繁盛の象徴。

さらに金魚愛玩の背景は過密都市・江戸で小さな金魚に自然の大気を意識したからではないか。

古来日本人は生け花にも天地を凝視したように、「枕草子」も〝小さきものを愛し、江戸の絵師芳は金魚の擬人化したコミカルな動きの絵、9点は笑いを誘う。

川柳でも

金魚売り　これか

これかと追いかける

心のふる里を行く ㊼

日本の霊性と癒やしを求めて

池田雅之

コロナ禍の再燃といつ止むともしれぬウクライナの戦火。それに追い打ちをかけるかのように、安倍元首相暗殺事件の勃発。生き抜く力を徐々にはぎ取られていくようだ。

うつ状態に陥っているかのような錯覚すら感じる。

なぜ、ある気分から少しでも自分自身を解放しようという思いで一冊の本を作った。『別冊・太陽』を求めて」（平凡社）である。

『別冊・太陽』の「日本のこころ」シリーズ3百号という節目の記念出版となった。

八雲ていうと「怪談」ばかりが注目されるが、彼は日本を広く旅をし、庶民文化の豊かさと美しさについて世界に知らしめた国際的な作家である。八雲の文学は日本の青白きインテリたちの精神的苦悩を描く知性派の文学ではなく。市井の人びとの霊性と哀歓を描く庶民派の文学なのである。

『別冊・太陽』「小泉八雲 日本の霊性を求めて」

私は本特集『小泉八雲』を編むことで、八雲という人物と作品から多くの癒やしをいただいた。そして、なにかほっとする気分に浸されたのである。「八雲はいつも私たちのそばにいる」という安心感であろうか。八雲の代表作『日本の面影』は、私たち読者の一人ひとりにやさしく語りかけてくる文学世界である。

このビジュアル誌の八雲特集を修復して改めて気付いた点がある。横浜、鎌倉、江ノ島を舞台に5篇もの作品を残しているという驚きであった。列挙すれば『東洋の第一日目』『茶話』『地蔵』『弘法大師の書』『鎌倉・江ノ島詣で』である。1890年4月4日に来日し、8月下旬までの5カ月を横浜すごしたが、その間に鎌倉・江ノ島・藤沢を巡り紀行文を残している。日本の「翻訳書」新編 八雲の面影―Ⅰ、Ⅱ（角川ソフィア文庫）では「地蔵」を除いた4篇が収録している。八雲が地元の湘南地区を歩き回り、その探訪記を残していたことは、もっと注目されてよいであろう。地元の読者はこれらの作品を読めば、いっそう「八雲はいつも私のそばにいて」、私たちの気持ちを和ませ、癒やしてくれていると感じるのではなかろうか。

小泉八雲という存在は、今日でも全貌について正当な評価が下されているとは思われない。しかし、このようなビジュアル誌の特集により八雲を生き生きと多面的にとらえ直す気運がうまれることを願っている。

（早稲田大学名誉教授・鎌倉でらこや顧問）

▼第6回鎌倉市中学生防災ミット2022 8月28日9時、鎌倉大仏殿高徳院。市内在住・在学の中学生対象。大船渡の中学生などから被災地の取り組みを聞き、防災アクションを考える。無料。QRから申込。市中学生防災サミット実行委・酒井方☎23・0015

▼みずたまてん 9月30日まで。御成、由比ガ浜から大仏通りにかけて、みずたまのれんフラッグのある約60店の商店でコラボ商品の販売やアート・フォト展、スタンプラリーなど。事務局☎0466・24・1234

▼ウクライナ難民を支援するPeaceバッジ 一口千円。QRコードから申込をして振込。湘南信用金庫 鎌倉営業部普通4159121エスデージーズカッドウシエンセンター。1口バッジ

多世代交流 ～子どもから大人までだれでも参加・楽しく交流～

鎌倉市在住の小学生以上対象　8月1日9時から各センターへ申込（先着順）

名越やすらぎセンター ☎25・1188	アロマのこねこね練り石けん 8月20日10時（500円）	後援 スポーツチャンバラ体験教室 鎌倉市実行委員会 ねんりんピック2022かながわ	9月24日10時
腰越なごやかセンター ☎31・0800	昭和のエアロビクス 8月21日10時（無料）		9月24日10時
教養センター ☎32・1221	ウクレレ体験教室 8月27日10時（500円）		9月24日10時
今泉さわやかセンター ☎45・4611	生き物育成講座～カブトムシ 8月14日10時（500円）	用具使用料5百円	9月24日10時
玉縄すこやかセンター ☎47・1338	鎌学生徒とマジック体験 8月21日10時（無料）		9月24日10時

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選

〈夫〉川音と即かず離れず蛍狩　山ノ内 高橋 仁
いかにも蛍狩りの一景が伝わってきた。特に川音に注目したところがこの句の幅を出していてよい。

〈地〉わだかまり洗い流してゆく夕立晴　植木 秦 和之
わだかまりは時間が経てば消え失せてゆくが、夕立の時間が洗い流してくれるとは新鮮な発見であった。

〈人〉梅雨明けの空より日射しまつしぐら　藤沢市 青木寿美子
こういう場面をどう表現するかも俳句の楽しみの一つ。中七から下五が適格であった。

駅毎に初夏の風入れ電車過ぐ　腰越 吉田 昭子
駅毎に入る風。静と動の感覚が余韻として読み取れた。

涼しさの波音を聴く廊に入る　横浜市 矢沢 寿美
この季題は難しいのであるが、内容が濃いものになった。特に廊という特殊な場所も面白い。

新調の傘に長靴梅雨晴間　腰越 松原 薫
梅雨晴間の時を思い切り楽しんでいるのが表れていた。

蝉時雨暫し癒され政子墓地　横浜市 吉田 健二
夕空に雲のほどけて梅雨明けぬ　材木座 羽賀 一男
隠沼や右に左に蝦蟇の声　藤沢市 森田 順子
湯あみして見むや丹沢大夕焼　藤沢市 柳 蒼柳
天空に祝詞ささらか海開き　藤沢市 中村 喬
父の日に贈るレコードLP盤　黒田まもる
鎌倉は三方緑北は富士　高口 道宏
そら豆の鞘に収まる水の音　小河 哲美
サーファーの七里ヶ浜も夜の秋　腰越 魚住 藤明
あじさいの花曼陀羅となりにけり　逗子市 塩谷あい子
県命に光を放つ恋蛍　逗子市 西尾美智子
ワクチンを打ちて炎暑の白き道　葉山市 大塚喜代子
庭隅の真白紫陽花しじみ蝶　横浜市 成田 保子
半夏生行きも帰りも見て通る　植木 風見 玲子

鎌倉朝日歌壇

木村 雅子 選

追熟を促しをりてつつがなく梅の香れるひと間に眠る　玉縄 杉山ますゑ
梅仕事が順調に進行中。追熟の甘い香りに充実感が。

西伊豆の岩地の海は透きとほり波の揺らぎの水底に見ゆ　今泉台 下田 和夫
下句に、岩地の海の透明度がくっきりと見えてくる。

オペラブリマウクライナ国旗を肩に負い長きオーションに目を閉じて立つ　藤沢市 三浦 和子
戦禍の故国への、オペラ歌手の思いが、下句に深い。

囲われて網に次々突き刺さるカマスを揚げる東雲の海　片瀬 中村 喬
長いなと夫があきれる母からの電話を聞くも私の役目　大船 小笹岐美子

ほったらの美しき乱舞にリズムあり点りて消ゆる光の軌跡　逗子市 湊 美根子
大谷に負けじとヒット打ちました鎌倉シニアのソフトの試合　植木 秦 和之

ひまわりの小道歩きて汗ふけば湧きくるおもい平和よ永遠に　横浜市 桜井 真弓
ラインする何やら嬉し老いこころ小四の孫とおしゃべり続く　笛田 入野 裕江

オフショアの波に舞いまうサーファーの踊るスピンにいまし夏が往く　台 魚住 藤明
蛍火の利那利那のかがやきは命つきゆく恋の叫びか　辻堂 柳 蒼柳

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選

〈天〉川音と即かず離れず蛍狩　山ノ内 高橋 仁
いかにも蛍狩りの一景が伝わってきた。特に川音に注目したところがこの句の幅を出していてよい。

〈地〉わだかまり洗い流してゆく夕立晴　植木 秦 和之
わだかまりは時間が経てば消え失せてゆくが、夕立の時間が洗い流してくれるとは新鮮な発見であった。

〈人〉梅雨明けの空より日射しまつしぐら　藤沢市 青木寿美子
こういう場面をどう表現するかも俳句の楽しみの一つ。中七から下五が適格であった。

駅毎に初夏の風入れ電車過ぐ　腰越 吉田 昭子
駅毎に入る風。静と動の感覚が余韻として読み取れた。

涼しさの波音を聴く廊に入る　横浜市 矢沢 寿美
この季題は難しいのであるが、内容が濃いものになった。特に廊という特殊な場所も面白い。

新調の傘に長靴梅雨晴間　腰越 松原 薫
梅雨晴間の時を思い切り楽しんでいるのが表れていた。

蝉時雨暫し癒され政子墓地　横浜市 吉田 健二
夕空に雲のほどけて梅雨明けぬ　材木座 羽賀 一男
隠沼や右に左に蝦蟇の声　藤沢市 森田 順子
湯あみして見むや丹沢大夕焼　藤沢市 柳 蒼柳
天空に祝詞ささらか海開き　藤沢市 中村 喬
父の日に贈るレコードLP盤　黒田まもる
鎌倉は三方緑北は富士　高口 道宏
そら豆の鞘に収まる水の音　小河 哲美
サーファーの七里ヶ浜も夜の秋　腰越 魚住 藤明
あじさいの花曼陀羅となりにけり　逗子市 塩谷あい子
県命に光を放つ恋蛍　逗子市 西尾美智子
ワクチンを打ちて炎暑の白き道　葉山市 大塚喜代子
庭隅の真白紫陽花しじみ蝶　横浜市 成田 保子
半夏生行きも帰りも見て通る　植木 風見 玲子

購入新図書のリスト抄

鎌倉市中央図書館（6月分）

鎌倉市中央図書館（☎25・2611）は6月に一般261冊、児童書28冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。

▼「うまくいく人の考え方―自分を成長させる100の質問」永松茂久著　SBクリエイティブ▼「幻想の都鎌倉―都市としての歴史をたどる」高橋慎一朗著　光文社（光文社新書）▼「北条義時の生涯―鎌倉幕府の草創から確立へ」菊池紳一監修　北条氏研究会編　勉誠社

▼「史伝北条政子―鎌倉幕府を導いた尼将軍」山本みなみ著　NHK出版（NHK出版新書）▼「北条義時の足跡をたどる旅」「北条義時の足跡をたどる旅」製作委員会著　東京ニュース通信社（TOKYO NEWS BOOKS）

▼「実家の空き家問題を解決する！」主婦の友社編　主婦の友社▼「一流の言いかえ―「ふつうの人」を「品のいい人」に変える」諏内えみ著　光文社▼「ひとはなぜ戦争をするのか」アルバート・アインシュタイン著　ジグムント・フロイト著　講談社（講談社学術文庫）

▼「いきもの六法―日本の自然を楽しみ、守るための法律」中島慶二監修　益子知樹監修　山と渓谷社いきもの部編　山と渓谷社▼「人生を整える距離感の作法」曽野綾子著　マガジンハウス（マガジンハウス新書）

▼「ウクライナ日記―国民的作家が綴った祖国激動の155日」アンドレイ・クルコフ著　ホーム社

▼「鎌倉幕府と北条義時見るだけノート―鎌倉幕府の興亡がゼロからわかる！」小和田哲男監修　宝島社

鎌倉市社協設立70周年記念 マスコットキャラクターデザイン募集

設立70周年の節目に、プルで親しみやすいデザイン＞市内在住・在学の中学生以上対象▽9月15日必着▽応募用紙に記入し提出。最優秀賞5万円。市社協☎23・1075

▼第6回鎌倉市中学生防災ミット2022 8月28日9時、鎌倉大仏殿高徳院。市内在住・在学の中学生対象。大船渡の中学生などから被災地の取り組みを聞き、防災アクションを考える。無料。QRから申込。市中学生防災サミット実行委・酒井方☎23・0015

▼みずたまてん 9月30日まで。御成、由比ガ浜から大仏通りにかけて、みずたまのれんフラッグのある約60店の商店でコラボ商品の販売やアート・フォト展、スタンプラリーなど。事務局☎0466・24・1234

▼ウクライナ難民を支援するPeaceバッジ 一口千円。QRコードから申込をして振込。湘南信用金庫 鎌倉営業部普通4159121エスデージーズカッドウシエンセンター。1口バッジ

終の棲み家を考える ㊾

接道（道）について

家を建てる時、その土地が道路に面している事が必要です。法律的に決まりがあり、建物の大きさや建てる軒数で道の幅が決められています。最低でも公道に2m以上接していなければなりません。他人の土地を通らなければ、自分の土地に入れない事がないようにするためです。2mに満たない幅しかない所も現実にあります。法律ができる前から道として使っている場合と道路として認められている場合です。

2m程度の道を何軒かで使っていてその道が公道ではなくその内の1軒の所有地になっていないと大変な事になってしまいます。

身近に良く分かる人を持っての判を求められることがあります。良く説明を聞き理解してから押印するようにして下さい。むやみに拒否してはいけません、家の建たない土地は財産価値が極端に落ちます。自分の家の建替え等で土地の登記が必要な時、隣地の人から境界の確定のための